

ネット選挙解禁で 政治は良くなるのか?

インターネットによる選挙活動の今後の可能性を探る

4月19日、議員立法により公職選挙法が改正になり、インターネットを活用した選挙運動が可能になりました。以前から政策や自分自身の考えを、お金をかけずに市民に伝えることのできるツールとしてインターネットを活用してきた黒川勝横浜市長は、今回の法改正には早くから注目していました。今年の参議院議員選挙からのスタートですが、本格導入は次回の統一地方選挙からとも言われています。

ネット選挙の解禁で、直接政治が変わるといふことはありませんが、政策を発信するツールが増えるということは、市民のみならず、もっとも政治に関心が高まるきっかけにつながると思います。政治の世界だけのことだと捉えるのではなく、この機会に若い世代のみならず、スマートフォンやパソコンを使っているみなさんには、政治や政治家に対してこれまで以上に関心を持っていただきたいと思います。

去る5月16日、マニフェスト大賞実行委員会ローカルマニフェスト推進地方議員連盟の共催で「ネット選挙解禁で政治は良くなるのか」と題した研修会が開催されました。党派を超えて全国から100名を超える地方議員を中心とした参加者が集まっていたとき、熱心な議論が展開されました。

オープニングセッションでは、「ネット選挙解禁法案成立の意義と目指す政治の姿」と題してパネリストがセッションを行いました。パネリストは自民党のネットメディア局長でもある福田峰之衆議院議員、民主党広報委員長鈴木寛参議院議員、コーディネーターは、マニフェスト大賞実行委員長の横浜市議員黒川勝が務めました。会議の内容の要約を掲載させていただきます。

黒川(以下黒) 本日は、東京都議選・参議院選挙の直前というお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。おひたりの、自民党と民主党の今回の法改正の中心人物だったと聞いています。が、まずはこれまでの経緯や法案の中心について、そして地方議会についてのお話をいただけたら

と思います。

鈴木議員(以下鈴) 今日は民主党・参議院という立場からではなく、10の党でつくる「各党協議会」で、自民党の平井卓也議員と共同代表をしている立場でお話します。インターネットは経済・医療・教育などの分野で着実に定着してきましたが、選挙に関しては遅れています。個人的には12年前から言っているのですが、今回ようやく10党が全党一致で公職選挙法の改正にたどり着くことが出来て良かったと思っています。

福田議員(以下福) 私は自民党では平井議員のもとで主に外向きな話をするスポークスマンとしての役割を担っています。国会議員は選挙の際には自分の名前が書いてある政策「しるし」を配布できますが、地方選挙では禁止されています。しかし、これからはホームページやブログ、SNSなどウェブ上で選挙活動が出来るようになるわけです。地方議員でも政策を有権者に訴えることが格段に実現しやすくなります。今回の法改正は、普段の政治活動ではネットの活用に制限はないけれど選挙になるとダメといういびつさを解決しようというわけです。私も普段から「日の出テレビ」を通じてネット放送の双方向性を生かしてナマの声を伝えています。選挙になるとアクセスが100倍以上増えます。有権者が政治家の政策を知るには有効なツールなのです。

(黒) 私も普段はSNSのほかに2種類のブログと毎週一回一時間の「やればできるテレビ」というネット放送を行っています。選挙期間中のネット活用のポイントはどこにあるのでしょうか。

(鈴) ネット選挙解禁が目指すのは、「お願いの選挙から約束の選挙」への転換です。いままではできるだけ多くのお得意様に投票のお願いをするという選挙活動でしたが、これからは期間中に説明・反論・解説・質疑応答などがネットを通じて出来るようになります。政策を示しその実現を約束するという選挙に近づきます。つまり有権者と立候補者が選挙中も「熟議」によって政策を高められるという選挙が実現するのです。また、ネットのただで完結するのではダメで、ネットから日常の政治活動への落としこみ、政治活動からネットへのアクセスの両方が大切です。街頭でタブレットPCを使ったアンケートを行い、その結果をネタにして政策をネット上で政治家も市民も一緒に議論するというプラットフォームなども必要だと考えています。

(黒) 将来、実際の選挙活動はどうなると思いますか。ネット視聴者向けの活動が増えるか立候補者は眠る時間もなくなってしまうのではないのでしょうか。

(鈴) そこかもしれません。ネット上で500人や1000人に有効な回答が出来るなら、朝の駅前



早稲田大学日本橋キャンパスに100人を超える地方議員・行政関係者が全国から集まってくれました。



(黒) ネットというメディアを使って政治の泥臭い部分を伝えていくのは難しいと思うのですが。

(鈴) 我々政治家は薬害被害をゼロにするのも大事、一方で新薬の承認を一日でも早くして難病患者

(黒) それぞれの候補者が自分なりの意見や考えを勝手にネットで発信して「いいいいいい」政党全体としての政策やマニフェストが崩れていくことも考えられないでしょう。

(鈴) マニフェストを決めるまでに争点を整理する必要があります。政治とはジレンマやコンフリクトにあえて優先順位をつけていくことです。選挙におけるネットの活用とは、有権者に自分も当事者なのだと思解してもらいきっかけになると思うのです。それぞれの意見や主義主張を持ち寄り、まとめていく努力をネットを通じて有権者に知っていたらいいと思います。健全な民主主義が芽生えてくれれば良いと思います。

(黒) オバマ大統領は前回の大統領選挙でフェイスブックの「いいね」が三億回、ユーチューブへのアクセスが2億5千万回、ツイッターのフォロワーが2千万人だったそうです。ネット解禁でより多くの新たな層に政策や考えを伝えることが出来るようになる一方で、誹謗中傷などのデメリットも言われています。最後にこの点に関してご意見をお願いします。

(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日

名前だけを連呼するよりもその時間を睡眠に当てたほうが効率的かもしれませんね。私も毎晩「スヌター」ラボトークというトーク番組をやっています。選挙中もやりますので、早朝の街頭活動は減らさざるを得ないかもしれませんね。

(福) 地方議員の選挙の場合、ネット活動で票は増えないかもしれませんが、地方議員は地域との繋がりの政治活動が圧倒的に多いと思います。選挙も大切ですが、法改正をきっかけに普段の活動にどれだけネットを取り入れ、ネットで何が出来るかを考え、実践して欲しいと思います。聞かせるのいいことだけを約束すれば選挙には勝つかも知れませんが、財政は破綻します。「人気がない政策だけやらなければならぬ」政策についていいねに有権者を説得する、そこをクリアする手法のひとつがネットではないかと思っております。

を救うことも大切、このジレンマに結果責任を負うのが政治です。政治家はフェイスブック、ツイッター、紙媒体への寄稿、ネットでの発言などあらゆる手法で国民に伝えて理解を求めなければならぬのです。

(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日

(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日

(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日



(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日

(黒) ネットというツールは諸刃の剣ではありますが、みなまで取り組むべき方向に正しく舵取りが出来れば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日

み、試行錯誤しながら進化させていくことが大切です。国民が政治や行政、税金の使われ方や政治家の考えに対して関心を高め、双方間で意見を交換できることが当たり前になれば、日本の政治が変わり、日本が進むべき方向に正しく舵取り出来るようになるはずだと思います。このシンポジウムに参加してくれた地方議員のみなさんも今日をきっかけにネット政治に取り組み気持ちになってもう一度ご検討をお願いします。今日



市民に開かれたわかりやすい政治を目指す、黒川まさるに対する期待・要望・激励・メッセージなどをお寄せください。
返信FAX 045-786-4310

お名前 _____
ご連絡先 _____

ご連絡いただいた方にはお返事をさせていただきます
(住所・メールアドレス・FAX番号・何でも結構です)

いろいろチャレンジしています。

黒川まさる ネット活用術

- Facebook 写真にひとことを添えた日常活動を報告しています。ぜひ「お友達」になってください。
- twitter 毎週水曜日の夜9時からツイキャスで「やればできるテレビ」ナマ動画を配信中。
- YouTube Ustream でも「やればできるテレビ」は配信しています。放送後に録画でも見れます。
- Ameba blog 「くろかわまさるのヘビームーン」は日常の政治活動を写真とともに振り返るブログです。
- Yahoo blog 「しあわせの選択」は視察やイベントのレポートを数枚の写真を添えて書いています。

すべての情報には、プラットフォームとしての「黒川まさる ホームページ」からアクセスできます。まずは、黒川まさるホームページに遊びに来てください。

www.masaru-k.net

議会での発言(議事録・動画)・過去の広報誌・政策マニフェストなども黒川まさるのホームページからリンク・アクセスできます。



まもなく、スタート!

「まさる・あらめや通信」

黒川まさるの新たな試みとして、7月からメールマガジン「まさる・あらめや通信」の配信を準備しています。購読していただける方は、QRコードまたは下記のアドレスに空メールを送信してください。準備が整い次第、登録・配信いたします。

masaruk1965@yahoo.co.jp



携帯電話の場合はパソコンメールの受信拒否設定を解除してください